



2023年3月20日発行

拝啓

厳しい寒さが終わり、少しずつ暖かくなり春らしさを感じられる時期となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

春は新年度を迎え、出会いの時期でもあります。

新たな本と出会いに、図書館を訪れてみませんか。新たな発見を得る一冊を見つけることができるかもしれません。

かしこ

## -- 今月号のラインナップ --

### Calendar

2023年4月～5月カレンダー

### LiLian Special Info.

「食」から縁が生まれていく、心温まる小説特集

### 今月の一冊

『うさぎパン』

### LiLian Interview

平野可奈先生（生活環境学部 食環境栄養学科）



# 2023年4月・5月 カレンダー

4月

◎ 8 : 30 ~ 20 : 00

○ 9 : 00 ~ 16 : 30

| 日           | 月       | 火       | 水       | 木       | 金       | 土        |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|
|             |         |         |         |         |         | 1<br>○   |
| 2<br>休館     | 3<br>○  | 4<br>○  | 5<br>○  | 6<br>○  | 7<br>○  | 8<br>○   |
| 9<br>休館     | 10<br>◎ | 11<br>◎ | 12<br>◎ | 13<br>◎ | 14<br>◎ | 15<br>○  |
| 16<br>休館    | 17<br>◎ | 18<br>◎ | 19<br>◎ | 20<br>◎ | 21<br>◎ | 22<br>○  |
| 23/30<br>休館 | 24<br>◎ | 25<br>◎ | 26<br>◎ | 27<br>◎ | 28<br>◎ | 29<br>休館 |

5月

◎ 8 : 30 ~ 20 : 00

○ 9 : 00 ~ 16 : 30

| 日        | 月       | 火       | 水       | 木       | 金       | 土       |
|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
|          | 1<br>◎  | 2<br>◎  | 3<br>休館 | 4<br>休館 | 5<br>休館 | 6<br>○  |
| 7<br>休館  | 8<br>◎  | 9<br>◎  | 10<br>◎ | 11<br>◎ | 12<br>◎ | 13<br>○ |
| 14<br>休館 | 15<br>◎ | 16<br>◎ | 17<br>◎ | 18<br>◎ | 19<br>◎ | 20<br>○ |
| 21<br>休館 | 22<br>◎ | 23<br>◎ | 24<br>◎ | 25<br>◎ | 26<br>◎ | 27<br>○ |
| 28<br>休館 | 29<br>◎ | 30<br>◎ | 31<br>◎ |         |         |         |

最新情報はHPを  
ご確認ください →



# LiLian Special Info.

## ♪ 「食」から縁が生まれていく、心温まる小説特集 ♪

新生活が近付き、期待と不安が入り混ざる時期になってきました。  
何だか疲れてしまった…という方もいらっしゃるのではないのでしょうか？  
忙しい日々を追われる中でホッと安らげる小説をご紹介します。

小野寺史宜／著 『ひと』 913.6/O678 閲覧室2F（読書コーナー）

母を亡くし、20歳の若さで独りぼっちになってしまった「僕」。  
商店街の惣菜屋「おかずの田野倉」で最後に残ったコロッケをお婆さんに譲った  
ことから、お店でアルバイトをすることになりました。個性豊かな店員たちと日常  
生活を共にしていくにつれて「僕」は両親の過去と向き合い始め、段々と自分の  
将来を決めていきます。1つのコロッケが繋いだ不思議な縁によって成長していく  
「僕」の姿が、行くべき先を照らしてくれるような気がします。

古内一絵／著 『マカン・マラン』 913.6/F92/2(1) 閲覧室2F（読書コーナー）

サラリーマンからドラッグクイーンに生まれ変わった「シャル」。彼女が夜に  
だけ開く夜食のお店「マカン・マラン」には早期退職の対象になった会社員、母親  
の手料理を食べなくなった男子中学生とその対応に困ってしまった教師…と様々な  
悩みを抱えた人々が訪れます。シャルが作る温かくて優しい料理は、疲れ切った  
人々の心をゆっくりと解きほぐしていきます。

有川浩／著 『植物図鑑』 913.6/A71/11 閲覧室2F（読書コーナー）

OLの「さやか」は会社の飲み会帰りに自宅マンションの前で行き倒れていた美青年  
「イツキ」を拾い、ひよんなことからルームシェアを始めました。「誰かと一緒に食  
べるご飯」の温かさを知った彼女は、この生活に心地よさを感じていきます。ある  
時、仕事のミスが重なって落ち込むさやかをイツキは「狩り」と称して野草採集に  
連れ出し、ふきのとうやツクシを使った料理を作りました。  
料理が苦手なさやかでしたが、イツキとの「狩り」に出かけて行くうちに野草料理  
の魅力に目覚め、そしてイツキにも心惹かれていくのでした。



美味しいご飯が繋ぐ、優しい物語たちです。  
是非、読んでみてください♪

（たまみ）

\*\*\* 今月の一冊 \*\*\*

『うさぎパン』 瀧羽麻子 / 著

|       |
|-------|
| 913.6 |
| Ta735 |
| ア     |
|       |

閲覧室2F(読書コーナー文庫)

女子校育ちの優子は高校生になり、同級生の富田君と大好きなパン屋さん巡りをする。継母と暮らす優子と両親が離婚した富田君。そのほか同級生の早紀、家庭教師の美和ちゃん、幽霊となって現れた聡子、様々な人とのかかわりの中で、優子はいったい何を見つけたのか？また、パンが好きな二人の行く末はどうなるのか？

まるで、できたてパンのふんわりとした温かさに包まれたような、そんな気分になれるお話です。読み終わった時、あなたはきっとパンが恋しくなるでしょう。



(りさ)

☆2014年金城生のおすすめ本投票で1位になった作品です



# LiLian Interview

大すきな先生に  
インタビューに  
行こう 53

生活環境学部 食環境栄養学科

平野可奈 先生



## 1. 趣味は何ですか？

学生時代は旅行が好きで、今も温泉に行ったりしています。浜名湖の館山寺では湖を見ながらゆっくり入ることができるので、時間があれば行きたいと思っています。また、ロードバイクをやっています、たまに金城の坂で走っている人を見かけたら私です(笑)。運動不足の解消がきっかけで、7年くらい前に始めたらすごくハマってしまって、昔は週末に多治見へ走りに行ったり、チームで走ったりしていました。アマチュアのレースに出て入賞したこともあります。最近は室内トレーニングをしています。

あとは研究ですね。

世界で誰もやっていないことを見つけ出して行い、それをまとめて発表することがやっぱり一番楽しいです。

研究自体は生涯やっていきたいことだと思っています。



## 2. 学生時代に心に残った思い出について教えてください！

大学3年生の頃、研究室どうしが近いので皆で集まって勉強会や実験をしたりしました。顕微鏡で蛍光染色された組織を観察した時に、暗い中で光っていた細胞がとても綺麗で、ミクロの世界に宇宙を感じたことが心に残っています。(後で紹介する)本との出会いもあって、研究することの面白さに気づくきっかけになりました。

### 3. 大学で好きな場所はどこですか？

やっぱり研究室ですね。研究にどっぷりと浸かっている時間が好きで、ロードバイクもそうですが、他のことを考えずに没頭できる時間が一番好きです。ゼミ生や院生ともここで話したりするのも好きです。

### 4. お気に入りの本やオススメの本はなんですか？

短いけれど世界観に浸れる詩が好きで、中原中也の詩を大学時代によく読んでいました。インタビューのお話を頂いてから改めて読み直してみると、学生の頃とはまた違った視点で詩を楽しむことができ、新たな視点の発見があるんだなと思いました。またいい詩があったら読んでみたいと思っています。

他には、多田富雄の『免疫の意味論』という本で、どのようにして免疫細胞が自他認識をしていくのかという内容です。免疫細胞は異物や細菌、ウイルスに対して排除しようと攻撃するのはもちろんですが、自分の細胞を誤って過剰に攻撃してしまうことがあります。自己との境界線を付けられず、あるいは境界線の引き方次第で、外部から入ってきた無害なものや自分にまで過剰に反応しようとしてしまうのは、人間関係やこの社会にもどこか似ていると思います。免疫の視点から人やそれを取り巻く環境との関わりについて論ずるといっているのはいつかやってみたいですね。

また、福岡伸一の『生物と無生物のあいだ』や『できそこないの男たち』も読みやすくおすすめです。面白いので、是非読んでみてください。



### 5. 研究内容について教えてください！

大学で教えているのは「解剖生理学」で人の構造や働きについてですが、専門は「免疫学」です。アレルギーについて、どうして食べ物や花粉が排除すべきものとして認識されるのかなどを調べ、その状態を改善するためにできることはないか研究しています。

今テーマにしているのは「腸内細菌」です。どのような状態が免疫に影響を与えるのか、食事によって変わるのではないかとということで、食物繊維などを摂ると善玉菌が増えて免疫がどう動くのか等について研究しています。腸内細菌が作り出す栄養も私たちの体に必要なもので、共生関係にある菌とのバランスについても研究しています。

花粉症対策にはヨーグルトや発酵食品を定期的に継続して摂取すると、腸で作用するので効果的です。

## 6. その研究をされている理由を教えてください！

自分しかできないことがしたいと思っているからです。一人で作業を行うことが好きで、理論を自分で組み立てて出した結果を評価してもらうことが、研究の面白さだと思っています。また議論するのも好きで、共同研究をしていく中で色々な意見を聞いて新しい考えができれば楽しいし、自分の結論が変わったとしても皆で新たに理論を組み立てていくのも面白いと思います。

## 7. 大切にしている言葉や座右の銘は何ですか？

あまり座右の銘とかはなかったので調べてきました(笑)。エジソンの「私は失敗したことがない。ただ、1万通りのうまく行かない方法を見つけただけだ」という言葉が、すごくしっくりきます。実験をやっていると、上手くいかないことは次に追求するきっかけにもなるので、失敗は無いのだと思っています。また、「人から批判されることを恐れてはならない。それは成長の肥やしとなる」という言葉も素敵です。学生の時には叱られることもあると思うんですけど、批判に向き合うことで、自分の成長の糧にして欲しいです。

## 8. 金城生に一言お願いします！

大学時代は色々なことにチャレンジしてほしいです。色々なことに接していれば、自分に向いていることや新たに何か見えるものがあると思います。これまで続けてきたことをさらに深めていくことも重要ですが、これまでとは違ったことや、やってみたいと思ったことにぜひ挑戦してほしいです。

## ☆インタビューを終えて



普段学んでいることとはまた違った貴重なお話を沢山聞くことができ、非常に有意義な時間でした。

お忙しい中、お時間を割いていただきありがとうございました。 (めい)

初めてのインタビューで緊張しましたが、ゼミでご指導頂いている平野先生の新たな一面を知ることができ、とても楽しく話せました。研究に対する思いや、考え方に触れ、先生との距離が縮まったと感じました。 (ののか)

\*\*\* 紹介された本（金城学院大学図書館所蔵） \*\*\*

『中原中也詩集』 請求記号：911.5/N33/6/B1

『免疫の意味論』 請求記号：491.8/Ta16/1

『生物と無生物のあいだ』 請求記号：460/F82/

『できそこないの男たち』 請求記号：467/F82/

